

感染症情報 4月13日～19日

府下小児科196医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	244例(堺市	14例)
②溶連菌感染症	108例(堺市	1例)
③突発性発疹	60例(堺市	3例)
④RSウイルス感染症	27例(堺市	0例)
④水痘	27例(堺市	1例)

府下インフルエンザ定点299医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 10例(堺市 0例)

が報告された。感染症報告数は前週比14.7%減の533件であった。先週にも触れたが、新型コロナウイルス感染防止のため、検査がほとんど行われていないので、参考値としていただきたい。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して16%減、堺市では前週の22%減であった。溶連菌感染症は府下で34%減、堺市で6例→1例であった。RSウイルス感染症は府下で前週・今回とも同数例、堺市で前週・今回とも0例であった。水痘が府下で4%増、堺市で0例→1例であった。

指定感染症：大阪府下の新型コロナウイルス感染症は4月13日から19日までに392例増えて、累計1,217例となっていた。大阪府では1月26日から4月21日まで延べ11,513件を検査して1,349件陽性(単純陽性率11.7%)。直近の4月15日から21日では、3,573件検査して455件陽性であった(単純陽性率は4月8～14日が16.4%→4月15～21日が12.7%に改善)。

堺市では2月6日から4月22日までの751検査中、90例が陽性で(一部堺市以外の検査も含む。単純陽性率は12.0%)、直近の4月16日から4月22日の209検査中、17例が陽性であった(単純陽性率は前週24.7%→今回8.1%と大幅に改善している)。

麻疹や風疹の報告はなかった。